

## 2021年度科学研究費によるシンポジウム案内

科学研究費補助金 基盤研究 (A) 20H00576

「大規模複雑データの理論と方法論の革新的展開」

研究代表者：青嶋 誠 (筑波大学)

## (I) 多様な分野における統計科学に関する理論と方法論の革新的展開

開催責任者：蛭川潤一（新潟大学）

日時：2021年9月3日（金）～9月5日（日）

場所：新潟大学駅南キャンパスときめいと 講義室 A（TEL:025-248-8141）

<https://www.niigata-u.ac.jp/university/facility/tokimate/>

注：現在、会場の入場人数に制限がかかっております。コロナ禍の状況に応じて、オンラインを併用したハイブリッド開催になる可能性がございます。

内容・目的：多様な分野における統計科学に関して、新しい理論や方法論、教育といった様々な研究の革新的展開についての講演を広く募集します。統計科学の諸分野間では大規模、複雑なデータに直面するなど、共通の課題を抱えています。このため本シンポジウムは統計科学の諸分野間でのアイデアの交流を目的とします。他分野においても有用と思われる、最新の知見や埋もれている結果についての汎用的な統計方法の解説、問題提起、応用事例、新たな統計教育の方法や実践の紹介等を歓迎します。このシンポジウムを通して、若手の研究者の育成を視野にいれ、分野を超えた統計家のネットワークを発展させます。

旅費の配分：講演者を中心に配分します。旅費希望の方は講演申込の際にお伝え下さい。

宿舍の斡旋：斡旋しません。

講演申込期限：2021年7月23日（金）

氏名・所属・講演題目を電子メールでお知らせ下さい。

予稿期限：2021年8月13日（金）

A4 サイズ 10 頁以内で作成し、PDF ファイルを送信して下さい。

報告書原稿：

報告書を作成しますので、予稿とは別に報告書原稿（A4 サイズ 2 枚）も PDF ファイルで送信して下さい。

問い合わせ先・講演申込先・予稿送付先・報告書原稿送付先：

〒950-2181

新潟県新潟市西区五十嵐2の町8050

新潟大学理学部数学教室 蛭川潤一

E-mail: [hirukawa@math.sc.niigata-u.ac.jp](mailto:hirukawa@math.sc.niigata-u.ac.jp)

## (II) 予測モデリングの理論と応用

開催責任者：小森 理（成蹊大学）・深谷 肇一（国立環境研究所）

日時：2021年10月22日（金）～24日（日）

場所：成蹊大学6号館401室

内容・目的：予測モデリングは理論と応用の両面で非常に重要であり、医学、生態学、生物学、工学、ビジネスなどの分野で盛んに研究されているテーマの一つです。特に近年注目されている大規模かつ複雑データを扱う予測モデリングの研究は未開拓な部分が多く、これから大いに進展する分野であることが期待されます。本シンポジウムでは様々な分野で活躍される研究者の講演を広く募集し、分野横断的な議論を通し新たな研究の方向性を探っていければと思います。

旅費の配分：講演者を中心に配分します。旅費希望の方は講演申込の際にお伝え下さい。

宿舍の斡旋：斡旋しません。

講演申込期限：2021年9月24日（金）

氏名・所属・講演題目を電子メールでお知らせ下さい。

予稿期限：2021年10月8日（金）

A4サイズ10頁以内で作成し、PDFファイルを送信して下さい。

報告書原稿：

報告書を作成しますので、予稿とは別に報告書原稿（A4サイズ2枚）もPDFファイルで送信して下さい。

問い合わせ先・講演申込先・予稿送付先・報告書原稿送付先：

〒180-8633 東京都武蔵野市吉祥寺北町3-3-1

成蹊大学 理工学部情報科学科 小森 理

Email: komori[at]st.seikei.ac.jp TEL: 0422-37-3764

### (III) International Symposium on New Developments of Theories and Methodologies for Large Complex Data

開催責任者：青嶋 誠（筑波大学）、イリチュ美佳（筑波大学）、矢田和善（筑波大学）、  
石井 晶（東京理科大学）

日時：2021年11月5日（金）～6日（土）

場所：つくば国際会議場（<https://www.epochal.or.jp/ja/>）  
（対面+ZOOMのハイブリッド型での開催を予定）

内容・目的：近年、高次元データやビッグデータに代表される大規模複雑データに関する統計解析事例が爆発的に増加し、新たな統計的理論と方法論の発展が目覚ましい。本国際シンポジウムは、大規模複雑データの理論・方法論や、その解析事例について幅広く講演を集め、最新の動向を知ることができる場としたい。さらに、招待講演者として著名な外国人研究者を招聘し、国際的な視点から、ゆったりと討論を行うことを目的とする。

旅費の配分：講演者を中心に配分します。旅費希望の方は講演申込の際にお伝え下さい。

宿舍の斡旋：斡旋しません。

講演申込期限：本シンポジウムは、主催者側から講演者を招待する形式とします。

予稿期限：2021年10月15日（金）

A4サイズ10頁以内で作成し、PDFファイルを送信して下さい。

報告書原稿：

報告書を作成しますので、予稿とは別に報告書原稿（A4サイズ2枚）もPDFファイルで送信して下さい。

問い合わせ先・講演申込先・予稿送付先・報告書原稿送付先：

矢田和善

〒305-8571 茨城県つくば市天王台 1-1-1

筑波大学 数理物質系 数学域

Email: yata@math.tsukuba.ac.jp

TEL: 029-853-4291

## (IV) データサイエンス・統計学における方法論と応用の新展開

開催責任者：植木優夫（長崎大学）

日時：2021年12月3日（金）、4日（土）

場所：オンライン開催

内容・目的：データサイエンスや統計学の重要性が社会的に認知されつつある一方で、年々拡大するデータの種類や規模、複雑さに合わせて、データを扱う技術自体も発展しています。本シンポジウムでは、データサイエンスや統計学における新しい方法論や手法とその応用、様々な領域のデータに対するモデリングや解析事例など、幅広いテーマの講演を募集します。異なる問題意識を持つ研究者が相互に交流することで、データサイエンス・統計学分野における最新の動向や問題点を理解し、問題解決や新たな研究の発展につなげることを目的とします。

旅費の配分：オンライン開催のため原則ありませんが、状況に応じてご相談を承ります。

宿舎の斡旋：オンライン開催のため斡旋はありません。

講演申込期限：10月29日（金）

氏名・所属・講演題目を電子メールでお知らせ下さい。

予稿期限：11月19日（金）

A4サイズ10頁以内で作成し、PDFファイルを送信して下さい。

報告書原稿：

報告書を作成しますので、予稿とは別に報告書原稿（A4サイズ2枚）もPDFファイルで送信して下さい。

問い合わせ先・講演申込先・予稿送付先・報告書原稿送付先：

長崎大学情報データ科学部 植木優夫

E-mail: [uekim \[at\] nagasaki-u.ac.jp](mailto:uekim[at]nagasaki-u.ac.jp)

## (V) 社会科学におけるデータ科学の理論と応用

開催責任者：松田安昌

日時：2022/2/17(木)-18(金)

場所：東北大学

内容・目的：

データ科学は、ビッグデータ分析のためのツールとして大きな注目を集め、データに基づき現実的な応用を目指す科学として発展を続けている。本シンポジウムは、広く社会科学におけるビッグデータに着目し、データ科学による応用を発表・議論することを目的とする。人間と社会に関わるデータ解析の実際を紹介する講演を歓迎する。

旅費の配分：講演者を中心に配分します。旅費希望の方は講演申込の際にお伝え下さい。

宿舎の斡旋：斡旋しません。

講演申込期限：

氏名・所属・講演題目を2021年11月末までに電子メールでお知らせ下さい。

報告書原稿：

予稿/報告書を作成しますので、2022年1月末までに原稿（A4サイズ2枚）もPDFファイルで送信して下さい。

問い合わせ先・講演申込先・予稿送付先・報告書原稿送付先：

dssr-sec@grp.tohoku.ac.jp